

科目名	医用治療機器学 I			授業の種類	講義演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3年 通年
【授業の目的・ねらい】							
1. 臨床工学講座 医用治療機器学 第2版の内容理解 2. 医療治療機器学実習および医療治療機器学Ⅱへのスムーズな導入							
【実務者経験】							
臨床工学技士として加古川中央市民病院に勤務。臨床工学室技師長として、院内の医療機器の安全管理に従事。							
【授業全体の内容の概要】							
1. 教科書を軸に、配布資料やパワーポイントを使用 2. 授業中は学生へ質問を多くし、意見を傾聴							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】							
1. 将来の臨床工学技士として、携わる可能性がある様々な医用治療機器の知識の習得 2. そのための着眼点や考え方を事例を通して理解							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	医用治療機器学 I の進め方、 1. 治療の基礎						
2	2. 電磁気治療機器 (1)電気メス①						
3	2. 電磁気治療機器 (1)電気メス② / (2)マイクロ波手術装置						
4	2. 電磁気治療機器 (3)除細動器						
5	2. 電磁気治療機器 (4)心臓ペースメーカー						
6	2. 電磁気治療機器 (5)カテーテルアブレーション装置 / 小テスト①						
7	小テスト①解説 / 3. 機械的治療機器 (1)吸引器 / (2)結石碎石装置						
8	3. 機械的治療機器 (3)心血管系インターベンション装置						
9	3. 機械的治療機器 (4)輸液ポンプ (シリンジポンプ)						
10	4. 光治療機器 (1)レーザ手術装置						
11	5. 超音波治療器 (1)超音波吸引手術装置 / (2)超音波凝固切開装置						
12	6. 内視鏡 (1)内視鏡						
13	6. 内視鏡 (2)内視鏡外科手術器						
14	7. 熱治療機器 (1)冷凍手術器 (2)ハイパーサーミア装置						
15	小テスト② / 小テスト②解説 / まとめ						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】							
・臨床工学講座 医用治療機器学、篠原一彦 ほか、医歯薬出版株式会社							
【準備学習・時間外学習】							
・事前に教科書を読んで講義に臨むこと ・講義後は板書とメモと教科書を用い、要点をまとめること ・ME2種や国家試験の過去問にも積極的に取り組むこと							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】							
試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テスト15点を2回、定期試験を70点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							